

コモンスの再創造における 連帯経済の役割

～「21世紀の豊かさ」の著書を中心に～

【研究会趣旨】

2016年12月3日に協同総合研究所が25周年記念集会を開催した際に、「協同組合の源流を問う」「協同労働という働き方」「よい仕事と社会連帯経営」の3テーマを掲げましたが、これを進化させるために現在、「共同体と協同労働」「社会運動（協同組合の社会的役割）」「持続可能な社会と協同組合」の3本のテーマを今後、研究所として推進していこうと考えています。この3テーマを推進する上で、背景としてどのような社会をつくり、その社会をどうつくっていくのかというマクロな視点が必要であり、そのことを考えたときに「協同」と「連帯」が大きなキーワードになるだろうと考えています。

2016年に国連は「持続可能な開発のためのグローバル目標」(SDGs)を採択し、17項目をターゲット¹⁾にして政策を進めています。その目指す社会は今と変わらない市場原理に基づく社会なのか、それとも「連帯」「協同」を軸とした社会にするのかが問われてきます。そこで今回、2016年10月に「21世紀の豊かさ 経済を変え、真の民主主義を創るために」の編集・訳を行いました中野佳裕さんを報告者にお招きし、新たな社会のあり方を皆さんで深める研究会を開催したいと思っております。ご参集の程、宜しくお願い致します。

【開催概要】

日時:2017年3月21日(火) 14:00～17:00

場所:日本労協連 8階 A 会議室 (※協同総研事務所の上の階です)

(住所:東京都豊島区東池袋 1-44-3 池袋ISPタマビル7F)

資料代:1,000円(会員、学生、障がい者は500円)

報告者 中野 佳裕 さん

テーマ「コモンスの再創造における連帯経済の役割」

¹⁾目標1「貧困」目標2「飢餓」目標3「保健」目標4「教育」目標5「ジェンダー」目標6「水・衛生」目標7「エネルギー」目標8「経済成長と雇用」目標9「インフラ、産業化、イノベーション」目標10「不平等」目標11「持続可能な都市」目標12「持続可能な生産と消費」目標13「気候変動」目標14「海洋資源」目標15「陸上資源」目標16「平和」目標17「実施手段」

中野 佳裕(なかのよしひろ)さん プロフィール



2016年10月に発行された「21世紀の豊かさ 経済を変え、真の民主主義を創るために」(中野佳裕編・訳、ジャン＝ルイ・ラヴィール/ホセ・ルイス・コラッジオ編 コモンズ発行)。本書は『21世紀の左派 - 北と南の対話へ向けて』の日本語特別編集版で、新たに「協同で仕事をおこす」を編著した広井良典さん、吉原直樹さん、千葉真さん、中野佳裕さんが「コミュニティの再構築を目指して - 日本の課題」に寄稿しているものになっています。

【参加申込】

3月15日(水)までにメール等で当研究所にご連絡をいただければと思います。

【連絡先】

一般社団法人 協同総合研究所
〒170-0013
東京都豊島区東池袋 1-44-3
池袋 I S P タマビル 7階
Tel:03-6907-8033 Fax:03-6907-8034
Mail:kyodoken@jicr.org 担当:岩城

Ph.D (英国サセックス大学)。専門は社会哲学・開発学・平和研究。

国際基督教大学社会科学研究所非常勤助手、同大学院教養学部非常勤講師、明治学院大学国際平和研究所研究員を兼任。NPO法人アジア太平洋資料センター(PARC)企画運営委員。大学では開発学、平和学、国際政治経済学分野の講義を担当。2014年度からはPARC自由学校で「新しい<経済学>とく豊かさ>を学ぶゼミナール」も担当中。共著に『脱成長の道——分かち合いの社会を創る』(勝俣誠、マルク・アンベール編著、コモンズ、2011年)、『21世紀の左派——北と南の対話へ向けて』(ジャン＝ルイ＝ラヴィール、ホセ・ルイス・コラッジオ編、スペイン語、2014年/フランス語、2016年)など。訳書にセルジュ・ラトゥーシュ著『経済成長なき社会発展は可能か?——<脱成長>とくポスト開発>の経済学』(作品社、2010年)、ジャン＝ルイ・ラヴィール編『連帯経済——その国際的射程』(北島健一、鈴木岳との共訳、生活書院、2012年)、セルジュ・ラトゥーシュ著『<脱成長>は、世界を変えられるか?——贈与・幸福・自律の新たな社会へ』(作品社、2013年)など。

詳細はウェブ研究室 (<http://postcapitalism.jp/index/>) まで。

【会場地図】

